



平成29年12月7日発行 守山市発達支援センター
 守山市下之郷三丁目2番5号 守山市福祉保健センター（すこやかセンター）
 Tel：077-582-1158 Fax：077-581-1628 E-mail：hattatsu@city.moriyama.lg.jp

お知らせ

平成29年度市民啓発講座 「発達障害を知ろう」

日時：平成29年12月16日（土）午後2時から

場所：守山市民ホール（小ホール）

第1部 「発達^{でこぼこ}凸凹のある人たちが自分らしく生きるために」

講師 ^{さかうえゆうこ} 阪上由子さん（滋賀医科大学 小児発達支援学講座 特任准教授）

第2部 「守山市民病院での取り組み」

講師 ^{うえぼさとこ} 上羽智子さん（守山市民病院 小児科医長）

継続した支援ってどんなことしているの？

発達支援センターでは、発達上の支援を必要とする人やそのご家族に対して、生まれてから就労まで一貫した継続的な支援を行っています。

	就園前	就園中	小学校	中学校	中学校卒業後
発達相談（検査含む）	○	○	○	○	○
のびのび教室（親子療育教室）	○				
ぼけっと（児童相談支援）	○	○			
あゆっ子教室（児童発達支援）	○	○			
あゆっ子教室（保育所等訪問支援）		○			
さんさん教室（個別言語指導）		○			
きらり教室（集団言語指導）		○			
巡回訪問		○			
訪問相談		○	○	○	
就労支援					○
ひきこもり相談					○

のびのび教室ってどんなところ？



スタッフ打ち合わせ



制作活動



運動遊び

「のびのび教室」は、親子療育教室であり、心身の発達に遅れや偏りがある就園前の子どもが対象となります。小集団での活動を通して、保護者が子どもの発達の特徴を正しく捉え、より良い親子関係を築いていけるように支援することを目的としています。

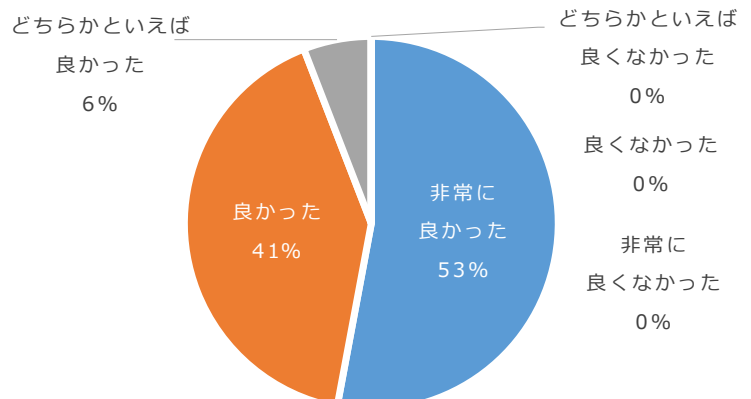
活動は1回1時間30分、月に2回（隔週）しています。全部で4グループあり、1グループの人数は10名程度です。

集団行動が苦手な子どもがいれば、コミュニケーションをとるのが苦手な子どももいます。運動発達を心配している保護者がいれば、言葉の遅れを心配している保護者もいます。そのような子どもや保護者に対して、遊びや活動を親子で共有する機会を設け、その子に合った関わり方や言葉のかけ方を保護者が学ぶ機会を提供しています。また、「できた！」「楽しい！」「次はこんなことしたい！」と、子どもが喜びを感じたり、意欲をもったりするなど子どもの成長を促し、肯定的な感情を育てています。

参加者の感想

- 子どもが、とても楽しそうに参加していました。
- 集団生活の練習になり、学ぶことが多かった。
- 子育ての不安が、教室に参加してからとても少なくなり、子どもも一年でとても成長したと感じます。

平成28年度のびのび教室に参加した感想



担当職員から一言

のびのび教室に来られる保護者は、ことばの発達や全体的にゆっくりとした発達を気にされていることが多いです。就園に向けて、子どもの経験を広げたり、その子に合った子育てのスキルを保護者に伝えたりすることを大切にしています。